



(令和元年第5号)

○今日歴史往来25号を発信しようと準備していましたが、ところ下記のような文章が古市くんから飛び込んできました。次号の頭にするか迷いましたが、今月(7月)に間違いがないのでそのまま生メールを添付します。

僕も郷土史の勉強をと大竜小と玉龍と島津の殿様たちにとても身近な学舎で学んだ縁もあり、今、3冊の文庫本と郷土史家(日向の)の本、4冊を読み終えようとしています。

現在、天野純希の文庫本(小説)『衝天の剣―島津義弘伝上』ハルキ文庫を読んでいます。

前2作の歴史小説に比べ又違ったこれはこれでとても「愉しい」史実にもとずいた小説です。いろいろな「…戦い」「…乱」の深いところが分かり、人物はスマホでグーグル検索をしながら読んでいます。

幕末(維新史)もよかったけど中世史もなかなか面白いですね。ちなみに藤原姓に関してはいくら検索してもまだ納得しそうな文は見つかりません。

以下…古市メールです。

オオイシ

●ご無沙汰です。メールありがとうございました。大石さんからの「霸道に屈せず」で藤原義弘の文字、初めて拝見しました。かって義弘公の居館があった精矛神社の石碑建立が事実とすれば、何故藤原性を名乗ることにしたのか謎ですね。

島津氏のルーツを辿ると、資料によれば、初代島津忠久の父親は近衛家に仕える家人だったようで、その縁から藤原氏ともつながりがあったようです。ただ、後妻が既に頼朝の子を身ごもっており、生まれた子が島津家の初代忠久であり、忠久が長じて任されたのが『島津荘園』の始まりとも。

もっとも、父親は藤原氏でも庶流であり、権勢を誇った藤原一門とは縁遠かったのではないかと思慮されるところ。また初代以降広大な荘園の名称を名乗っており、敢えて石碑に「藤原」の名を冠したのは何故でしょうか。

勉強不足でよく分かりません。何か判明したら教えてください。熱中症に注意しつつ。

佐倉市 古市

○いつもありがとうございます

豊玉姫伝説

知覧には綿津見神(わたつみのかみ)の娘、豊玉姫(とよたまひめ)と玉依姫(たまよりひめ)に関する地名伝説が多い。

姉の豊玉姫は川辺(かわなべ)を、妹の玉依姫は知覧を領することになって、開聞から一緒に出発しました。

加治佐と栢場(はしば)の間の峠で休憩し、清水に浸した櫛で鬢(びん)を直したので、鬢水峠という。

飯野(いいの)は二人が昼食をとった所、飯野と塗木(ぬるぎ)の間には、昔老松があって宮下松(ぐいげまつ)といった。

その近くの小さな川で干飯(ほしいい)にする米を洗ったので白い水が出るようになり白水と呼ぶ。

二人はやがて西元に着いて泊まった。

玉依姫は川辺のほうに美田を多いのを見て、翌朝、姉よりも早く起きて川辺のほうへ行った。

豊玉姫は仕方なくしかたなく知覧を領するようになった。

それでそのあたりは取違(とりちがい)といい、人名にもとられるようになった。

西山

●7月31日 クマモト

今朝はグラウンドゴルフでした。毎週土曜日のみが定例のグラウンドゴルフで10人前後集まってやるのですが、老人会のメンバーの中に

一人、人工透析のために土曜日に参加できない方がおられます。そのために有志で人工透析の方も参加できる水曜日にもやろうということになり、それも5人で定例化してきました。ゲームは1ゲーム8ホールをまわります。それを4ゲームやります。人数にもよりますが、休憩時間も含めて、4ゲームで1時間30分から2時間かかります。今朝は8時過ぎに始めましたが、ギンギンの太陽光線に打たれながらいつものように2ゲームやって休憩、お茶、そして後半の一ゲームが終わったところで、さすがにその人工透析の方がギブアップ、4ゲーム目は休んでしまいました。私は、用事がない限り、この十数年、寒い冬も、暑い夏も参加してきましたが、さすがに80歳を前にした今年の夏は、今までにない疲れを感じます。鹿児島は日本一グラウンドゴルフが盛んだと言われていますが、真冬と真夏は休むというチームが多いですが、私たちは来週からは朝7時開始にしようというくらい意気盛んです。

余計な前段が長くなりましたが、3の3は慌ただしくたくさんの方が取り上げられていて、戸惑うほどでした。私も2回読んで今までの自分の知識と照らし合わせましたが、理解が進まず、それから更に2回ほど読み返しました。

豊臣秀吉の停戦命令も吹き飛ばしてしまうくらいの威勢の良さが九州制覇目前の島津家の武将にあったというのも頷けるが、ここにある、九州を毛利、大友、島津3氏と秀吉の直轄地に分ける「国分け案」に島津氏に従来の薩隅日の3カ国に加えて肥後、豊前のそれぞれ半分を与えるという案に乗らなかったというのは現在の段階で私が考えると惜しいことをしたと言う気がする。それだけ、絶対と思われる勅命を背景にしているにも拘らず秀吉をただの成り上がりものとみて許せない気持ちだったのだろう。もう少し勅命を重視して冷静な判断ができなかったのだろうか。

停戦命令に従わなかった島津氏はここに詳述されているように、兄弟の思惑違いなどもあり、作戦も変更したりしながら、岩屋城の戦い、戸次川の戦いなどを経て、最後は長兄・義久が秀吉の軍門に降った。ついには、義弘、家久の兄弟も撤退の止むなきに至ったということだろう。

九州制覇を夢見た島津一族の夢が潰えた瞬間である。

●西山

いつもありがとうございます

天正15年、西暦誤記 お気付き読書人の証でしょう

著者は間違えていないが、入力者が手先達者なため5と8の入力が前後した。

しかし編集デスクがそれに気付かなかった。

最近、一般的に編集デスクの国語力の低下が散見されます偉い人たちは、真摯に、肅々と言いたがる。

さて、どのようにして薩摩1国から大隅・日向を加えた3州になったのか次回を楽しみにしています。

●クマタツ

第三部④は一気に島津家と豊臣秀吉の和睦まで進んでしまった。

今日の島津一族が秀吉軍との戦いのことは、桐野作人「島津義久」や天野純希「破天の剣」などにも詳しく書かれているが、戦いというものは勝たなければ、いや勝ち続けなければ厳しいものだということを実感した。(私個人は戦争は全て嫌いです)

ちょっとしたほころびからでも敗色がみえると、それまでこちらに服従していた他国は寝返り、味方の軍勢も士気は衰え、脱落するものが続出する。

敵領の兵はもちろんのこと、農民から石もて追われるという惨憺たる有様である。

もう一つ気づいたことがある。

この島津一族が九州統一の夢破れ、秀吉の軍門に降ったのが1587年、そしてあの西南戦争で薩摩軍が明治政府に破れたのが1877年、この間290年である。こうしてみると、目的も軍勢もそれぞれ違うものの約300年を経て、薩摩は大きな戦争を2回戦ったことになる。

時の大きな権力に立ち向かった「薩摩のポケモンのチェスト行け！」精神に今更ながら驚かされる。

いろいろな経緯を経て、鹿児島川内の泰平寺において歴史に残る「和睦」に至るのだが、そのことは以前拙ブログに書いた。

その写真を添付します。(写真が違う場所に添付された？ かもです)

●西山

クマタツさん

郷土史家 面目躍如本当によく研究なさっていることに感心しました。

我々は、戦争の実体験、最後の世代です。

戦争の実体験なき者は、威勢のいいことを言うものです。

いつもありがとうございます。

シェクスピアをさほど知るわけではないが野望の実現、権力掌握には大きな代償が必要ということでしょうか？

豊臣が滅んでも生き残り、徳川を倒すまでになるとは. . . .

●大石くん

ん～

今日のはむつかしいです。

文人(ふみびと)でも文化人でもない凡人の私には・・・。

ただお茶の経験は正式には一回のみあります。

いわゆるお点前というものでしょうか。

長崎に勤務中、三菱重工から支店長として出向している偉い方の家に正月御呼ばれされたときに、その奥様がお茶の先生でした。

その時に始めて正式なものに接し、ほめられたことがありました。(笑)

その後、正式ではなく有料のお茶をのんだのは記憶する限りでは、萩の萩城址、京都の哲学の道のお茶屋、下関の毛利邸くらいです。

●大石

茶の湯は40代の頃5年間毎週1回、裏千家の先生宅へ通い[^]_^した。鹿児島銀行と女子短大の女子も10名ほどグループが出来て、毎回楽しみに通いました。最初4名の男子で稽古始めましたが2年たたないうちに僕



ひとりになってしまい。辞めるに辞められない(だんだん飽きたのと、足の痺れが出始める。お点前がだんだん難しくなる)等で辞めてしまいました。自宅の和室にも畳を炉を切り茶室迄作りました。

マンションに引っ越すとき茶碗や一通りの所作道具以外は全部捨てました。今ならメルカリで売れたのに。さて義弘が秀吉に伏見城で茶室に招かれた時、利休が隣にはべり使う茶

道具の説明をした、とあります。目の前に時の光景が浮かんできますね。

茶室は当時（戦国時代）の密室でしたから義弘の心境は穏やかではなかったでしょう。

●40代のころ5年間も通うとは落語などの噺ならよほど色っぽいお師匠さんを目当てということになっていますがそのようなことはサラサラないであろうとしてよく通い続けられた立派なものだと思います。



●おはようございます。 オオイシです。

台風8号が近づいています。9号も。

昨夜は全英女子オープン最終日観ていました。

スマイルシンデレラ渋野日向子メジャー制覇!!には驚きました。

ゴルフにはトーナメントの時々で、その時、女神がつく時や（ゾーンに入ってしまった）昨日の後半のサラスのような人もいますが試合と別の渋野のパフォーマンスには感心しました。

我らのアイドル「みなみちゃん」もプレーでは上出来だったと思います。アメリカでもまあまあの成績でしたし、今回も充分力を発揮しました。僕は今回3試合を観ていつも「みなみちゃんと」比べていました。



辿りついた結論は「その瞬間迷いが出るか出ないか」だと思うことでした。自分の車🚗の運転の咄嗟の時の迷いの参考にしたいと思います。

●西山

いつもありがとうございます

スマイル・シンデラとは、あちらのメディアの名づけでしょうか？まさにピッタリ、そのもの賞金で何を購入するかと聞かれて賞金は、いくらですか？と聞き返した。

マネー・ファーストの人には驚きであったでしょう。

茶の湯のことはまったく不調法です

中国は、茶の代金支払いのために英国から阿片を売りつけられた。

日本では血を流さずに和睦・親睦の場で、茶の湯が供された。

●くまつ

大石くんいつもありがとう。鹿児島を離れて南日本新聞を読むことが出来ない八期生にとっては何よりの記事だと思います。

私はこの掲載日には、朝一番、6時頃の起床のあとすぐこの記事から読みます。

今日はグラウンドゴルフの定例日でした。朝早くから行った甲斐がありました。過去には2,3年に一回しか出なかったダイヤモンド(1ゲーム8ホールのうち、3個のホールインワンを出すこと)を1ゲーム目に達成することが出来たのです。しかも、今年は1月19日に出していたので、今年2回目ということになります。しかし、その後の3ゲームはハチャメチャでした。(笑) まあ実力のない凡人にたまたまの幸運がきたのだと思います。

さて、昨日の④の最後に書かれていた秀吉が降伏した義久に安堵した所領は「薩摩国」一国のみだった、ということがその後、どのように変わったのか。桐野作人著「島津義久」によれば、義久に薩摩国のみ、日向国を大友宗麟に、その一郡(飢肥)を伊東祐兵(すけたか)に、嫡男を失うという大きな犠牲を払った長宗我部元親に大隅国を与えるものだったという。島津氏にとっては、存亡の危機に瀕するような国分であるが、一般的には、戦に負けた島津氏に対してはこれくらいの仕打ちは当然だろうとも考える。が今日の⑤によると、次男義弘と3男歳久が日向国確保のためになお抗戦している。

最終的には秀吉の弟・秀長の説得に応じ、息子・久保を人質として上方に差し出して降伏している。前記「島津義久」によれば、秀吉の奉公人である石田三成が鹿児島に乗り込んで、「龍伯(義久)殿ご本人と子女お一人、また武庫(義弘)のご子息一人、その他一門衆や老中衆からも証人を一人ずつ出して上方に上がっていただきたい。かれは関白殿下のご下命でござる」と言った。実際すぐに義久はその言に従った。私見だが、これを見ると後の「参勤交代」の萌芽がこの辺りにあるのではないかと思う。

このように一応の決着をみた秀吉九州を去るに当たり、最終的な「九州国分け」が行われた。

島津義久は薩摩国、義弘に大隅国、日向国は義弘の嫡男・久保に真幸院、島津豊久に佐土原とし、日向全部を回復することは叶わなかった。

これはどう見るべきか。「島津義久」によれば、豊臣政権に敗北したにもかかわらず、戦前より地位や身分知行地を増やした者が明らかに存在した。それは義弘であり、伊集院忠棟、豊久だった。彼らの台頭とは、すなわち龍伯(義久)の権力の縮小であり、同時に家中の身分構造に大きな変化をもたらすことになる、とする。

勉強不足の私の見解は違う。勝ち組の秀吉が何故、島津氏にこれほどの譲歩をしたのか理解に苦しむ。天下を取った余裕からなのか。これまでの島津氏の実績を汲んで、これからも日本の最南端を任せるに十分と見たからだろうか。

⑤にあるようにお金が動いたのか。いずれにしても「猿」と呼ばれた人物にしては太っ腹である。



それにもう一つ、4男・家久急死の謎である。ある意味義弘よりも勇猛と言われた家久(義弘がその勇猛さに嫉妬したとも言われる)が薩摩の梓にハマリきれないと思ったのか、秀吉の引きもあって「上方に上がり、相応の知行を受けて奉公することになった」という。その家久の急死のことは桐野作人が「島津家最強の真実」の中の「島津家の謎11」のなかの一つとしても取り上げているが、⑤では毒殺説が強力に取り上げられている。しかし、いろいろ調べてみたが、毒殺説にも手を下したのが秀吉側と思いきや、島津側という説もあり、病死説もある。大方の見方はまさに「謎」であとし、決定的なものはない。

今日も素人の私の限界を知るばかりで、何を書いたかわからなくなった。書き始める前はもっと書く事があったと思っていたが、まとまらない。

正直もう参ってしまったので、このあたりでやめます。

クマモト タツオ

追記 島津四兄弟末弟の家久は永吉島津家の初代とされ、息子・豊久は「島津の退き口」で叔父・義弘を生かすために戦死したが、日置市永吉にもある「天昌寺」にも墓標がある。写真を添付。なお拙ブログ2015年11月13、14日に記事はある。

●こば

隈元さん

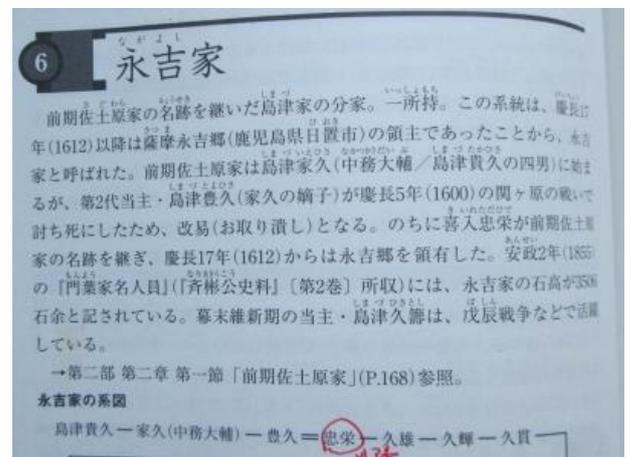
今晚は

薩摩史に 興味をもって おられ、よく勉強されておられるようです。

コメント など 興味深く 読んでおります。楽しみに しています。

島津 義久公 大河ドラマなど 期待しておられるようですが いろいろとなかなか 面白い人物のようですね

今後の記事 および あなたのコメント 関東 西山さんの コメントなど楽しみにしております。



大石さん ご苦労さんですが 鹿児島を 離れている者にとって あなたが言われている様に 郷里にの動きなどに興味を 持っている者にとっては 貴重な 情報源と思います。楽しみ しているところです。木場 祥雄

●みなさん こんにちは

後 20 年と少々、好奇心の赴くままにもっともっと探求をしたいと思っております。

知らないことは多いが、知っていても語りつくせないことも多いものです。

●西山

やや、古き良き時代の中国旅行(漫遊)羨ましい限りです

嵩陽書院(すうようしょいん)は中華人民共和国河南省登封市嵩山の南麓にあった書院。嵩陽書院は応天府書院(おうてんふしょいん)、岳麓書院(がくろくしょいん)、白鹿洞書院(はくろくどうしょいん)とともに、宋代四大書院と呼ばれる。宋代理学の「洛学」を創始した程顥・程頤(ていこう・ていいい、儒学者、陽明学の源流)の兄弟もここで講義したことがあるとのことようです。

少林寺の高い入場料を中国人が払えるとは思えませんので、中国人と外国人では異なる一物二価かもしれないと感じました。

素晴らしい演武ではありました。

○大石 8月6日(火)台風8号が朝未明に通過。

全英女子ゴルフが終わり高校野球が始まりました。

お盆までゴロゴロしながら野球観戦します。スポーツ観戦がいちばんです。

その昔、現役のころ夏の甲子園を思う存寝転んで全試合観たいものだ、とっていたことが今実現です。興味を維持していられた自分に対して感謝です。

先ほど、6日火曜日の3時。神村学園が佐賀に勝ちました。2回戦がまた楽しみです。相手チームは今闘っている富山の高岡商業と島根の勝者です。

●くまつ

鹿児島への台風8号は、いい意味で肩透かしを食わせて去って行きました。めでたしめでたしです。

私事ですが、今日の水曜日のグラウンドゴルフから暑さを避けるため、これまでの8時融合が、朝7時集合になったため6時前には起き出して、出かけました。5人のメンバー中、時間通り集まったのは4人、一人の朝寝坊さんは最終の3ゲーム目が終わる寸前に到着し、4ゲーム目だけに参加でした。私は先日も書いた通り、先週の水曜日は1ゲーム目に、ホールインワン3個を出すというダイヤモンドを達成しましたが、土曜日は4ゲームで2個のホールインワン、そして今日は「早起きは三文の得」の通り、4ゲームで3個のホールインワンを出しました。自慢話はこの辺でにして、いや、もう一つありました。今日は娘一家(婿、孫二人)4人と一緒に城山ホテル鹿児島のレストランに行ってきました。5月の連休に一族でランチに行ったとき、この孫二人だけがスケジュールが合わず欠席したので、その埋め合わせでした。食べる食べるでした。(笑)

さて本題⑦です。

⑤⑥の秀吉の南下で島津氏の九州制覇の夢やぶれ、「九州国分け」により薩摩・大隅・日向の領国体制を維持するしかなくなった、これが義久に突きつけられた現実だった。義久は秀吉政権への対応の仕方として、距離を置き、最小の協力に留める策をとった。一方、秀吉は徹底抗戦した義弘を取り込んで島津家を二分するという「離間の策」を用いた。義弘を島津家の当主のように扱うことで義久との間に齟齬を生じさせる作戦である。義弘は戦後、秀吉の子飼いであり、取次であった石田三成との関係が深まり、義弘が義久とのパイプ役という立場になっていく。それが秀吉側の狙いでもあったと思われる。義弘には難題が次々と発生する。重い軍役、領国の疲弊、義久との確執などである。一方で小田原・北条氏を討伐し(義弘の嫡男・久保の初陣)、東北地方をも平定した秀吉は、⑦にあるように「唐入り」を目指すのである。そ

の「唐入り」の先導役を命じた朝鮮使節を拒否されると、矛先を朝鮮に向けてしまう。この動きを薩摩にあって義久の医師だった明国人・許儀後(許三官)が明国側に通報した。

そのことについて、桐野作人「島津家の謎11」のなかの一つとして面白い記事がある。

曰く「明が島津に打診した「秀吉討伐計画」の全貌」というショッキングなものである。概要は次のようなものだ。島津義久に侍医として仕えていた許三官は広東の海上で倭寇の捕虜となり、薩摩に連行されたが、方技(医術)に優れていたため、義久に重用されていた。しかし、許三官は祖国が侵略されるのを座視できず、秀吉の征明計画を平戸に来航した明船に頼んで通報したほどである。このことが露見して、秀吉の怒りを買ったが、徳川家康のとりなして助命された。このとき許三官は明国福建軍門の金学曾に「秀吉は国を空にしています。薩摩の軍兵をかき集めれば4万人にはなります。乗れる船がないので、福建から船舶を用意してもらえたら、ともに合力して山城(秀吉の拠点である上方)を破り、秀吉の首を取ることができるでしょう」非現実的な話だったので、もちろん実現しなかった。(後略) 何ともはや奇想天外な話に思えるが、当人にとっては国を愛するがゆえの真剣な思いだったのだろう。

⑦では義弘の家族に対する(妻や嫡男・久保)愛情が伝わって来るし、義久は義久で三女・亀寿を嫁がせた久保への思いもあったと思うが、どうだったのだろう。このことは後の展開で出てくると思うが、久保が朝鮮の役で現地で病死したあと、亀寿を久保の弟・忠恒(のち家久)に嫁がせている。

その忠恒には亡き兄・久保のに代わって家督が約束されたはずだったが、そこで一波乱起こっている。そのことは先で。

クマモト タツオ

●大石さん森さん 8月7日

こんばんは

毎日 35度前後の暑さの日が続いておりますが そちらは 台風8号 は如何でしたか? 来週には 10号が 関西来襲? 予想されています。

先日の ホテル 男部屋に関する返事 いこまツアーリスト池田様 返事来ておりません。

盆前に 一度 返事 催促しようと思っております。

観光案内文 作成してみました。 観光地の写真は 貼り付けていません。

② 鳴門の渦潮 は 9月17日は 最高の見どころとなりそうです。

② 大歩危峡 は 遊覧船に乗るか? はっきりしないようです。 この点もいこまツアーリスト池田様に確認します。パンフレット 素案 メールします。私は 観光地の写真を PC で取り込むことはできないので 観光地説明の中に写真をはめ込む スペースを作り そこに 写真を張り付け 作成し コピーすることになります。先に まず 観光案内文 メールします。後日 どんなもするか 第1日の 鳴門渦潮の写真 貼り付けがどんなものになるかメールします。 木場 祥雄

●8月8日 木場より。

大石さん森さん

こんばんは

先ほど 送信した 観光案内文 写真入りについて 素案をメールします。

写真を 添付する 観光案内箇所は 大鳴門橋 大歩危峡 祖谷のかずら橋 大杉の苑 石手寺 松山城 の 6か所 ぐらいになるかと思えます。

観光案内文に 写真 取り入れたものが 出来上がりましたら こちらで 2部コピーし 大石さん 森さん宛てに 一部づつ 郵送します。文章は メールしたものと かわりません。 そちらから もっと こうしたら・・・と何か意見あれば 変更 します。各観光地に関する資料は PC で 取得 コピーしてあります。

大鳴門橋 渦潮については

- ① 鳴門の渦潮が 発生するのはなぜ？ ②鳴門海峡の潮速さと独特の地形 ③ 一つ一番よく大きな渦潮が見れるか？ など 9月17日は 大潮で最高の見どころだと思います。（この件 池田さんにも 確認しています）上記 6か所の観光場所 資料 コピー済み 必要なら 大石さんへ 郵送しましょうか？ 以上 木場 祥雄

●今日は早く目が覚めて、5時半頃起きましたが、鹿児島朝は台風の影響か朝焼けで真っ赤でした。そして日中は35度くらいの予想が出ています。まあ、熱中症にせいぜい気をつけて、お互い気張りもんぞ。 クマモト タツオ

●「令和元年度 文化財研修講座」に行ってきた。 クマモト・レポート

鹿児島県教育委員会文化財課主催による、上記講座への参加者募集が新聞に掲載されたのは3週間くらい前のことだった。

令和元年8月6日（火）午後1時～4時30分

場所は黎明館講堂

テーマ 1、城山の地形地質と鶴丸城 鹿児島大学名誉教授 大木公彦氏

2、紹介 「御楼門建設の現況について 県楼門等建設推進室主幹
池畑博史氏

3、日本遺産に認定された武家屋敷群「麓」について
NPO 法人まちづくり地域フォーラム・鹿児島探検の会代表理事
東川隆太郎氏

ちょっとマニアックな会だと思ったので、一人で応募して参加した。

当日は県下の先生方の応募が多く、一般公募200人も含めて満員だった。

ここでは、八期歴史会の皆さんも興味をお持ちであろう「ご楼門建設の現況について」その説明のあらましを書くことにする。

鹿児島城（鶴丸城）は慶長6年（1601）頃に、のちに島津家第18代当主・初代藩主となる家久（義弘の三男）が建設に着手した島津氏の居城で、背後の山城（城山）と麓の居館からなる城である。居館（現：鹿児島県歴史資料センター黎明館）の正面中央には、鶴丸城のシンボルとして御楼門があったが、明治6年（1873）の火災で焼失した。それ以前にも元禄9年、鹿児島城下の大火災により本丸が焼失したが宝栄4年（1707）本丸再建工事が終了した。そして天保14年（1843）御楼門の建て直しをした。（1844年説もある）文久3年（1863）薩英戦争で本丸や御楼門が被弾した歴史がある。

現在、県と鶴丸城御楼門復元実行委員会で構成する「鶴丸城御楼門建設協議会において、2020年3月の完成を目標に建設が進んでいる。

建設については、来年の国体に間に合わせるために、木材の人工乾燥に取り組んでいる。基礎工事は震度7に耐えるものとするが、現在の18個の礎石が実験の結果そのまま使えるほど、しっかりしたものだそう。土壁工事、木工事（建設費の6割を占める）、冠木（かぶき）屋根工事（瓦、鬼面瓦など）瓦12000枚使用、シャチは180cmで重さ300kgにもなるという。

当日の見学者コースの写真を添付。工事現場は冷房で驚いた。

●クマタツさん

あなたも あれやこれやとお忙しく なかなか 老け込む 暇がない様子。

いや～驚きました御楼門建設、2020年3月完成とはそうあるべく、現場は冷房とは

岐阜県にも感謝です。宝暦の治水工事の恩返しというよりも友好の証といったほうがよさそうです。 西山

●隈元さん

こんにちは

台風8号もそれたようで 何よりでした。

生駒も 毎日 35度の猛暑 続いています。

さて、今日は 鶴丸城および御桜門 建設の現況 工事現場 写真付きで 送っていただき

ありがとうございました。よく 解りました。

元気ですね 3時間半 の座学 聴くということ 大変なことと思います。

私は せいぜい 2時間まで 疲れが 出てきます。

今後共 よろしく 暑さ まだまだ 続きそうです。

お身体 ご自愛のほど お過ごしください熱中症にも ご用心！ 木場 祥雄

●森さん

こんにちは

今日も 猛暑 37度 あります。

返信 ありがとうございます。

MRI?結果いかがでしたか? どこか 悪いところでも?

猛暑 厳しき時節柄 お身体 ご自愛のほど お過ごしください。

木場 祥雄

●●From: 森繁 [mailto:kojmori1226@gmail.com]

Sent: Saturday, August 10, 2019 8:41 PM

To: yoshio koba

Subject: Re: 玉龍八期会四国旅行 いこまつーリスト池田様(返信)

こんばんわ。毎日暑い日が続いていますが相変わらずお元気なようで何よりです。小生は

先日検診で血液検査をしたところ前立腺の値(PSA)が異常に高いので精密検査を受けられ方がいいですよと言われ紹介状をもらって今給黎病院で今日MRI検査を受けてきました。結果はやはり前立腺がんの疑いがあるので組織を取って調べてみましょうとのことで15日から1泊で検査入院することになりました。結果がわかるのは25日ごろになるそうですので、その結果次第で手術することになるかどうか決まります。

もし手術の日程で旅行日までに間に合うかどうか今のところ不明ですが、もし行けなくなったときは共同負担分(バス代その他)の旅費はそのままで結構ですので皆さんの負担が増えないようにさせていただきますようお願いいたします。

なお、作成していただいた観光案内チラシは小生が印刷して参加者に送付しておきたいと存じますのでご安心ください。

この件は大石君には報告してあります。

以上とりあえず現状ご報告まで。 森

019年8月10日(土) 16:41 yoshio koba <kobayo77@kcn.jp>:

Cc: yoshio koba

○大石さん今晚は

森さん 情報 ありがとうございます。

けさ、四国旅行の返信メールで 今から MRI 検査に行きますとのメールあり。

どうでしたか? と 昼過ぎにメールしましたところ あなたと同じような返事いただきました。

検査結果 手術するような ことあれば 早くして 早く 完治 旅行できること祈ります。

最近 前立腺 膀胱がんは 完治 生存率 かなり 高くなってきています。

90%以上となって来ているようです。

手術されるようなことなれば 一日とも 早く 退院され 一緒に 旅行できるように 祈りましょう！

木場 祥雄

●大石さん

こんにちは昨日の森さんからの メール 転送します・

もし、行けなくなった場合は 共通部分の負担は しますとの連絡はいただきました。

16名になりましたので 旅行を 予定通り 行うか その場合は 森さんに 共通部分負担をお願いするか？ 今後も 出ないともわかりませんか？（この暑さで体調を崩す人も出てくるかもわかりませんか）どうすかは大石さんの方で 判断してください。以上 よろしく 木場 祥雄

○森より。

了解しました。今日9時からMRI診断に行ってきます。

●2019年8月9日(金) 17:33 yoshio koba <kobayo77@kcn.jp>:

大石さん、森さんには

久しぶりに 池田さんと電話連絡 取れました。

① 男の部屋数の件 もうすこし 待ってほしいとのこと② 観光案内 メールしました。イ. 大鳴門渦潮観光は 船からの写真添付されて おられますが ここは 遊歩道約450mの橋の上から ガラス越しに 約45mの高さの所を 歩いてみることにあります。（誤解を招かないように・・・と言われました）

遊歩道の写真もありますが 船からの方が 迫力あります。大鳴門橋 遊歩道 渦の道と題に入れておりますが・・・ロ. 大歩危峡 の遊覧船 は 乗らない ことにしています。

遊覧船の発着所まで かなり 降りていかねばなりません。帰りは 坂を歩いてのぼることになるので 外してありますとのことです。上から 見ることにはなりますが？どうでしょうか？

ハ. 松山 道後温泉 散策 温泉駅から 約10分の所のようです。なだらかな坂を下りて行くようです。途中で あたらしいお風呂や が出来ているようです。あすか？いずれにしても 夜の散策 問題なさそうです。17時前後に ホテル着 食事の前に？後に？するか バス到着 前に 決めましょう。以上 よろしく 木場 祥雄

●-大石さんおはようございます。森さんの件 ほんとに びっくりです。検査入院 結果 もし、がんが見つかった場合の除去手術なった場合は 早い日取りで 早期 退院できるよう 祈っています。術後の回復 半月ちょっとでの旅行 出来るかどうか 微妙なところのようです。森さんには 連絡できませんが もし 参加できないケースを考えて 見積書改訂版 作成してみました。

共通費部分 が 2,534円のUPとなります。宿泊、昼食、観光見物代は そのまま 返金できます。

企画料金は 16名で堪忍してもらいます。（いこまつーリスト）そこで 今後のことに関し、

① 森さんは 返金していただかなくても・・・と メール連絡もらっていますが共通部分は負担してもらうことにし、宿代は 返金するというにしたら如何でしょうか

② 16名となった場合は 一人当たり 2,535円UPとなり 57,080円の旅行代金となります。

③ 今回の旅行 16名になりましたので 取り消ししますか いま 旅行会社盆休みで いつまで 取消料なしで キャンセルできるか? 多分 このケースは一か月あれば(8月16日まで) OKのような 気がしますか? 休み明けに連絡取ります。以上 木場 祥雄

-

●歴史通信担当 大石よりみなさんへ。

今回は8月分を2回に分けて15日までを上期分として送ります。

実は前回の25号(7月末に送付分のデータが行方不明になり島津新聞切り抜きをどこまで送ったか分からなくなってしまったのです。そこで第3部の初めから8月最終分までをもう一度まとめて送らせて戴きます。

送付の2度目はほとんど添付(新聞)になりますのでよろしく願います。

●四国旅行もいよいよ秒読みに入りました。参加予定者にはより詳しい旅先情報を添付します。

●皆さんよいお盆休みをお過ごしください。

大石